

グローリー夢咲きの森 森だより2021

■第11回 森林整備活動（2021年）

2011年から始めました第一次「グローリー夢咲きの森」森林整備活動（10年計画）も、2020年で10年の活動を結実させました。残念ながら、最終年は、折からのコロナ禍で一部の活動を自粛せざるを得なくなりましたが、これまでの活動の灯を絶やさぬよう、中断させず継続いたしました。

また、2021年から新たに始めました第二次「グローリー夢咲きの森」森林整備活動（10年計画）でも、昨年同様に一部の活動を自粛しましたが、間伐、植樹は計画どおり実施いたしました。今後、徐々に元の活況ある活動へ戻して行きたいと考えておりますので、引き続き、ご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。



スタッフによる植樹 13本



間伐整備により炭素固定量が約18%増加

間伐：2021年12月6日 0.94ha
(ご支援:中はりま森林組合様)

植樹：2021年12月10日 13本
(ご支援:亀山造園株式会社様)

■第11回 子ども自然まなび隊（2021年）

自然体験イベント「子ども自然まなび隊 in グローリー夢咲きの森2021」は、新型コロナウイルス感染予防の観点から、昨年に引き続き開催を見送りました。

このイベントは、グローリーグループ社員と家族・取引先を対象に森の中での遊びを通じて、自然の大切さを次世代の子どもたちに伝えていくことを目的としており、過去10年間では、のべ501名の参加を数えました。2021年は、現地での体験イベントは叶いませんでしたが、生物多様性教育プログラムとして、2015年から継続実施しています「かぶとむしの生態学習」を企画しました。この活動の主旨にご賛同いただいた朝来市のコバヤシ産業様から幼虫を提供いただき、従業員31家族と託児所、児童センター2ヶ所へ配付し好評を博しました。



子どもたちからの観察日記

第一次森林整備活動（2011年～2020年）総括

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	合計
植樹_本 ^{※1}	30	20	20	20	20	20	22	20	20	12	204
間伐_ha	1.00	1.00	0.90	0.80	0.80	0.85	1.00	0.85	1.03	1.03	9.26
参加_名 ^{※2}	44	41	30	38	29	76	74	84	82	3 ^{※3}	501

※1 植樹本数は、枯木の植替えも含むのべ本数 ※2 参加名はのべ人数 ※3 2020年はスタッフのみの参加

■植生調査 里と水辺研究所 調査（2021.11）

活動10年の総括として、植生調査を実施しました。継続的に森林整備をすることで、**炭素固定量は、しない場合より約18%（2021年炭素固定量 非整備 1726ton→整備 2041ton）、約315ton増加**していることがわかりました。このことから、夢咲の森における森林整備活動が地球温暖化の防止に貢献したことが明らかになりました。



グローリー夢咲きの森 森林整備活動



■ 第二次森林整備活動（2021年～2030年）計画

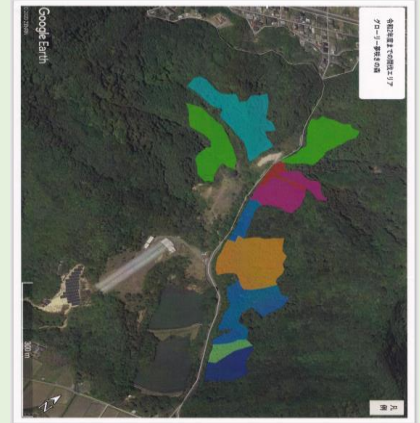
第一次森林整備活動（2011年～2020年）では、間伐1ha/年、植樹20本/年を目標に活動し、いずれも目標を達成することができました。

間伐については、植生調査の結果、炭素固定量が非整備の森と比較して、約18%の増加効果が認められ、継続整備の有効性が明らかになりました。また、間伐によりバッファゾーン（見通しの良い地帯）を拡大することによりシカの食害による被害を防ぐという副次効果も期待できることから、**間伐1ha/年を継続して間伐エリアを拡大させ、10ha/10年を目指します。**

植樹については、後期に植樹した地帯の土壌質や樹木種の相性などが不適であったことが要因で、枯木が頻繁になり植替えを余儀なくされました。結果的には、のべ204本の植樹となりましたが、現在のエリアでは、146本の植樹に留まっています。今後は、**「植樹」を拡充するのではなく、現在の樹木を「育樹」する保全活動へと軸足を移した活動**といたします。

いずれの活動も新型コロナが沈静化した暁には、多くのグローリー社員が直接的に森に関わることで、地域社会との交流も深め、社会的責任を果たすことを推し進めたいと思っています。

第二次整備計画に対しても、ご理解、ご協力をお願いいたします。



第一次整備活動 約9ha（着色部分）
第二次計画では、さらにエリアを拡大させる



枯木を増やさないう「育樹」活動を推進

■ 第12回 森林整備活動（2022年）計画

2022年 森林整備活動は、前年に続き、今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、止む無く規模を縮小して活動を継続させます。

中はりま森林組合様へ委託しての**間伐作業（9月）、事務局を中心とした小編成での植樹作業（12月）**を計画しています。

間伐エリアにつきましては、**1ha/年**として、エリア詳細、間伐資材の利用などについては関係各所と別途協議のうえ決定したいと考えています。

植樹作業につきましては、植樹エリアは拡大させずに現在のエリアを対象に**「育樹」**に努めていきます。夏季を過ぎた時期に生育状況を確認したうえで、**植え替えに必要な本数、樹木を確定**させたいと考えています。



林内が暗く、林床に緑がない未整備地帯を選定



「植樹」から「育樹」へ活動の軸足を置き活動